



保険情報サービス
取締役・ファイナンシャルプランナー

吉田 孝史 さん

東商共済で リスクに備える

中小企業の皆さま、事業活動を取り巻くリスクへの備えは十分ですか？東商の共済制度であれば、スケールメリットを活かしてお得に必要な補償（保障）を受けられます。今回は、実際に東商共済に加入している企業と、加入手続きをサポートした保険代理店にインタビューし、加入の経緯やリスクへの向き合い方などを伺いました。



内田化工
社長

林 晴子 さん

林：当社はアスファルトを主原料とする各種産業用資材の製造・加工を手掛けています。大手企業では取り扱いえないような特殊資材や小ロット製品も請け負える点が強みです。

一方、小ロット生産のため、製造工程には人の手が欠かせません。そのため重い資材を運ぶ最中に腰を痛めたり、高温にした原料を扱ってやけどしてしまったり。火災の危険も否めません。**従業員が安心して働ける環境を作るためにも、業務上の様々なリスクに備えるべく、「業務災害補償共済」と「団体PL保険」に加入しています。**



工場では危険物も取り扱う

■手頃な負担で安心な補償を
—東商の共済を選んだきっかけは？

吉田：同社は元々複数の保険会社の制度に加入していましたが、補償内容が一部重複していました。そこで、せっかく東商に入会しているのであれば、

と東商の共済制度へまとめるよう提案しました。**スケールメリットを活かした割安な制度に切り替えることでコストカットを図れるからです。**

林：東商共済は費用面のメリットはもちろん、自社に必要な補償をシンプルに備えられるのでありがたいです。

■保険分野を一任できる安心感
—保険代理店とはどのように付き合っていますか？

林：人手が限られる中小企業にとって、保険業務の専任職を置くのは難しいと思います。日々の業務に追われ、優先順位が下がりがちな分野をサポートしてもらえ、分からないことも気軽に相談できる。**まるで保険のかかりつけ医のような存在です。**

吉田：同社とは少なくとも年1回、保険全体の見直しをしています。リスクと聞くと「全て備えないといけないのか」と不安にもなりますが、今必要なもの・様子を見るもので優先順位をつけながら確認しています。

林：コロナ禍でも在宅勤務ができるようIT化を進めていますが、サイバー攻撃のリスクも気になっています。

吉田：PLや情報漏えいなど事業活動の様々な賠償リスクと、自然災害や感染

症などによる事業休業リスクを包括的に補償できる「ビジネス総合共済」もあります。団体PL保険からの切り替えも検討いただいています。

■中小企業こそ共済は不可欠
—多様化するリスクにはどのように備えるべきでしょうか？

吉田：ハラスメントなど業務上で訴えられるケースの多様化や風水害の激甚化など、企業を取り巻くリスクは変化しています。さらには円安、原材料費・エネルギーコストの高騰などもある中、損害賠償が発生すれば深刻な影響が及びます。**中小企業こそリスクへの備えは不可欠だと言えます。**



機械のメンテナンス中もリスクが多い

林：**従業員が安心して働ける環境をつくるためにも備えは重要。**その中でも、東商共済は手頃な保険料で必要な補償を受けられる点が大きなメリットです。事務局を通じて保険代理店を紹介してもらうこともできるので、まずは気軽に相談してみてもいいのではないでしょうか。

[企業情報]

■内田化工株式会社
本社：足立区 工場：栃木県
創業：1963年
アスファルト加工製品及び建築土木材料の製造・販売を手掛ける

■保険情報サービス株式会社
本社：足立区
創業：1997年
法人・個人問わず、社会保険・生命保険・損害保険など様々な分野に対応

「業務災害補償共済」「ビジネス総合共済」の概要は同封チラシでご案内しています。
なお、東商では他にも様々な共済制度を取り扱っています。
詳細はウェブサイトをご覧ください。

